

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
桐生市地域公共交通会議	株式会社沼田屋タクシー	黒保根町デマンドタクシー (運行区域: 黒保根地区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の移動実態を把握し、人々の生活を捉えた交通サービスとなるよう、年齢階層別、時間帯別等様々な視点からの利用状況に関するデータの収集・蓄積を継続的に実施している。</li> <li>・本市においては、運転免許証を自主返納した方に対して、デマンドタクシーの回数券などを無償で交付している。また、わたらせ渓谷鐵道においても、運転経歴証明書を取得した全国の方に対して、普通運賃の50%割引を実施しており、行政、鉄道事業者ともに、移動の利便性の向上を図るための施策などを継続的に実施している。</li> <li>・黒保根町内の高齢者の憩いの場として水沼温泉センターを利用する方へのデマンドタクシーの利用を周知・促進し、新規利用者の増加を図った。</li> </ul>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標である20人/1日に対し、今年度の補助対象期間の平均利用者数は19.7人であり、わずかに目標には及ばなかった。昨年度の平均利用者は21.5人であったため、若干利用者が減少している。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛により利用者が減少したものと考える。</li> <li>・利用状況を見ると、大半の利用者がわたらせ渓谷鐵道水沼駅に接続されるものであることから、幹線を結ぶ支線としての役割を果たしており、町外への交通手段は確保されている。</li> <li>・利用者の約半数が高齢者・障害者・中学生などの交通弱者であり、デマンドタクシーが幅広い年齢層の日常生活に必要な移動手段を安定的に確保することができていないものと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、運行事業者から報告される日報などから利用状況を分析し、利用実態を把握する。</li> <li>・運転免許証自主返納者に対し、黒保根町デマンドタクシーの回数券を交付する支援事業を継続して行い、市民が自家用自動車に頼らずとも生活できる環境整備に努める。</li> <li>・運転免許証自主返納者に対する回数券交付支援について交付数を増やして支援の充実を図ること検討する。また、チラシの内容等の見直しを行い、周知を図る。</li> <li>・デマンドタクシー利用促進の記事を公民館だよりに掲載して、周知を図る。</li> <li>・今後は新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮して、工夫した周知・利用促進を行っていく必要がある。</li> </ul> <p>【今後の目標値について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の利用者数の変動に注視しながら慎重に目標値の検討を行う。</li> </ul>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施されており評価できる。</p> <p>1日利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、利用促進の取組等による改善を期待する。</p> <p>また、改善点に記載のあるとおり、新しい取組によって確保できた利用者の状況に応じて目標値の設定について検討を行うなど、今後も適宜見直しを図られることを期待する。</p> <p>新規利用者、また既存利用者双方が使いやすい環境を整えるとともに、今後も市全体として持続可能な公共交通の構築を期待する。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
<p>渋川市地域公共交 通会議</p>	<p>関越交通株式会社</p>	<p>系統名 渋川駅～渋川 医療センター線 運行時間 7時55分～18 時55分(平日) 10時10分～18 時55分(土日祝) 運行本数 平日12往復便 土日祝6往復 便 運賃 100円</p>	<p>・渋川医療センターや周辺薬 局へ時刻表を掲示した ・渋川市路線バスマップを作 成、関係各所に配布した ・市HPや市広報紙におい て、バスの利用促進のため の周知を行った</p>	<p>事業が計 画に位置 付けられ たとおり、 適切に実 施された</p>	<p>年間利用者目標18,000人、1 便あたり4.9人に対し、利用実 績が12,145人、1便あたり3.3人 で目標を大幅に下回った。 【要因】 新型コロナウイルス感染症 の感染拡大により、人々の外 出が制限されたことが主たる 要因である。 また、渋川駅での乗り継ぎが 敬遠されていることも要因とし て挙げられる。 【参考】 実績運行回数:3,640回</p>	<p>・クレベリン(二酸化塩素ガス)や 高濃度オゾン発生器による除 菌、車内換気など、新型コロナウ イルス感染予防対策を引き続き 実施し、安全性について周知を 行う。 ・病院関連施設付近にバス停を 新設し、利用者の利便性向上を 図る。 ・老朽化した運行車両の更新を 行い、乗車しやすい環境を整え る。 ・JRのダイヤ改正に合わせて、 鉄道や他路線(渋川駅～高崎駅 線等)との接続を考慮するなど、 利用者の利便性向上を図る。 ・渋川医療センターにバス時刻 表を掲示するなど、引き続き、バ ス利用促進のための周知を行 う。 ・「広報しぶかわ」「市HP」などで バス利用促進のための周知を 行う。</p>	<p>事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施され ている。 昨年度に続き、目標値が 未達成となっていることにつ いては、新型コロナウイルス 感染症の影響のみとせず、 利用が伸び悩んだ理由につ いて分析していることは評価 に値する。 想定される要因について は、根拠となるデータ等を活 用しつつ、乗り継ぎ改善策や 運賃施策など、乗り継ぎが 負担とならないような施策が 業種を超えて実施され、地 域の交通が一体的に使いや すいものとなるよう、関係者 全体で運行改善等に向けた 議論を進めることを期待す る。 。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沼田市地域公共交通会議	関越交通株式会社	<p>路線名：沼須線                      起点：沼田駅                      終点：利根中央病院                      運行日数：245回                      運行回数：3,675.0回                      車両減価償却費等国庫補助金を活用し、購入した車両で運行を継続。</p>	<p>利根保健生活協同組合と情報交換を行い、利用者数及び年間収益減少の原因分析を行った。                      新型コロナウイルス感染者発生による利根中央病院外来診療休止及び外来受診控えにより、乗車人数も減少した。</p>	<p>計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>●運行費補助                      1. 輸送容量【達成】                      運行便数：往復7.5便                      乗車定員：13人(運転手を除く)  <math>13人 \times 7.5便 \times 2 = 195人</math>                      2. 1日あたりの乗車人数(人/日)【未達】                      ・期間中の乗車人数：7,122人                      ・期間中の運行回数：245回  <math>(7,122人 / 245日) = 29人</math>                      3. 収支割合【未達】                      ・年間収益：1,321,986円                      ・年間運行経費：7,165,853円  <math>(1,321,986円 / 7,165,853円) \times 100 = 18.4\%</math></p> <p>●車両減価償却費等補助                      運行の継続については目標どおり達成した。</p>	<p>沼須線利用者のニーズを把握するため、沼須線を含む沼田市委託路線利用者に対するアンケート調査を実施する予定である。このアンケート結果を路線の見直し等に反映していきたい。                      また、沼田市委託路線バス車両デザインの刷新を予定しているため、利用促進につなげたい。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。                      乗車人数がいくつかの指標で目標値を下回っており、昨年度と同じ検証内容となっていることについては、改善策等を検討することが望ましい。アンケートの実施については、どういった目的・ニーズで利用されているか、利用者のニーズに合致しているか、検証していただきたい。新型コロナウイルスの影響についても、利用者が安心して利用できる公共交通の実現に向けて、利用者目線の環境を整えることを期待する。                      事業者や施設等と連携し、地域住民が利用しやすい公共交通の実現と、さらなる利用者の確保に繋がる取組みを期待する。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 2月 26日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の 改善点	評価結果	
甘楽町地域公共交通会議	有限会社 昭和タクシー	町内全域における デマンドタクシー運 行	<p>地方運輸局等による前回の二次評価結果を踏まえ、住民の行動変容等を確認したところ、高齢者が病院への通院等に利用している点は、以前と変わらないが、4月の新型コロナウイルス感染症の拡大による1ヶ月間の緊急事態宣言を機に利用者数が大幅に減少した。</p> <p>敬老会の開催等の機会にPRを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントが中止となり実施できていない。</p>	<p>計画どおり、事業は適切に実施された。</p>	<p>目標利用者数9450人／年に対して、利用実績は7442人／年と数値目標を大きく下回った。交通弱者への交通手段の確保はできているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けたことが利用者数が減少した要因としてあげられる。</p> <p>外出自粛の中、できる限り利用しやすい環境を作るため、老人が乗降しやすい車両の購入や感染症対策を目的としたキャッシュレス決済の導入を試みたが、前年ほどの利用者数に戻るまでの回復はしていない。</p>	<p>今後はキャッシュレス決済等の感染症対策をより一層徹底し、その対策を周知することで、利用者の方の心配をとりのぞき、利用促進を図りたい。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。</p> <p>貴町においては、鉄道路線と甘楽町デマンドタクシーが運行しており、補助対象である甘楽町デマンドタクシーについては、利用者数について目標を達成出来なかった点については、細部まで要因を把握・検証し改善に努めることを期待する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大の影響があげられているが、利用者減少の要因を新型コロナウイルス感染症の影響のみとせず、こうした増減の理由を丹念に分析し、その結果を踏まえて今後の施策の検討を進めて頂きたい。引き続き、持続可能な公共交通を構築されるよう進めていただきたい。</p>	